



やまのて

令和5年6月29日

第4号

小樽市立山の手小学校

小樽市花園5丁目2番20号

TEL 32-2200



子どもたちの安全・安心を守る取組を行っています

校長 伏間 公洋

7月が近づき、本格的な夏の訪れを感じるようになってきました。学校では、大きな全校行事である運動会を終え、今は、1学期の学習に力を入れています。

さて、小樽市教育委員会では、6月12日からの1学期間を「子どもたちの安全・安心を守るキャンペーン」として、いじめ防止や情報モラル教育の推進、児童虐待防止の取組を実施しています。

本校でも、「子どもたちの安全・安心を守るキャンペーン」を実施しています。今月、全児童を対象に行った「いじめアンケート」では、担任が詳細を聞き取り、いじめの定義により61件のいじめを認知しました。必要に応じて謝罪や指導を行い、現在経過観察をしています。

これからも安全・安心が守られた中で、お子さんが力を十分に発揮できるように取り組んでいきます。子どもたちの生活の様子で気になることがございましたら、学校にもお知らせください。

立派にやり遂げました 修学旅行

6月14日・15日は、6年生の修学旅行でした。旅行前から、修学旅行実行委員が中心となり、しっかりと準備をしました。「6年間の総まとめの旅行にする」「集団の規律を学習する」「仲間とのつながりを学習する」などの目標を6年生全員が自覚して行動し、立派にやり遂げたことで、心のアルバムに素敵な思い出を加えてくれたことと思います。

【1日目】6/14

- ・国立アイヌ民族博物館
- ※昼食：カウボーイ焼き
- ・体験コロポックル
(陶芸体験)
- ・登別伊達時代村
- ・ホテルゆもと登別

【2日目】6/15

- ・北黄金貝塚
- ・火山科学館
- ※昼食：釜飯
- ・サイロ展望台
- ・京極ふきだし公園



※①



※②



※③



※④

- ①の写真は国立アイヌ民族博物館「展示物を観賞したり、体験ホールで歌やおどりに親しんだりしました」
 ②の写真は体験コロポックル「手びねり陶芸体験で自分だけのオリジナルカップを作成しました」
 ③の写真は伊達時代村「迫力ある忍者ショーを見たり、施設体験を汗をかくほどに楽しんだりしました」
 ④の写真は北黄金貝塚「当時の住居の様子を実際に入って見学したり、貝塚を散策したりしました」

『地域と連携した教育活動』の紹介

□ 絵本の読み聞かせ □

山の手小おはなし会の皆様が、各学級での読み聞かせを計画的に行ってください。久しぶりに子どもたちが絵本の前に集まって、絵本の世界を楽しむ様子が見られました。



□ 除雪機体験会 □

小樽市建設部が、除雪機体験会を行ってくださいました。生活科「まち探検」の学習として参加した2年生は、除雪機の作業状況の動画を見たり、実際に除雪機の運転席に乗ってハンドルを握ってみたいしました。



□ 花の道 □



例年、山の手小学校を大切にしてくださっている地域ボランティアの方から、花の苗と土をいただいています。今年も、パンジーなどの色鮮やかな花をいただきました。プランターに植えられた花々が続く『花の道』は、登下校をする山の手の子の目を楽しませてくれています。進んで水をあげる子や枯れた花のお世話をしてくれる子が増えています。心が豊かになる素敵な贈り物をいただきました。

ふるさと教育の推進から



6月21日（水）外部講師を招いて潮音頭講習会を行いました。参加した5・6年生は、潮音頭の踊り方だけではなく踊るための心構えも学びました。

7月29日（土）潮ねりこみには、山の手の子74名と多くの保護者の踊りとサポートの申込みをいただきました。今後は、PTA 主催の潮ねりこみ講習会を本校体育館で行う予定です。

【PTA主催 潮ねりこみ講習会】 6月30日（金）・7月21日（金） 15時30分～16時30分

小樽の良さを感じる機会を設けることで、自分が育っている場所（ふるさと）を大切にしようとする心を育てていきます。

『ICTを活用した教育活動』に取り組んでいます

□ 山の手小タイピング選手権 □

キーボードを使った文字入力に慣れることを目的にスキルアップキャンペーンを6月19日（月）から26日（月）の期間で行いました。文字や言葉、文などを決められた時間でどの程度入力できるかで得点が決まり、期間内は何回でもチャレンジできるという内容でした。ローマ字入力は、1年生からチャレンジしています。「新記録がでて嬉しいな」「か行はKがつきます」上達する喜びや早く入力するために気付いたことを口にしていました。

□ 考えを交流する場面で活用 □

自分の考えを入力します。考えを見直す際の Chromebook での加除修正は、素早くできる良さがあります。そうすることでまとまった個々の考えは、みんなが見ることができます。画面を見ての考えの交流は、短時間で多くの考えに触れることができる良さがあります。授業の終末での振り返りの場面で、「友達と交流することで、自分がこんなに良い考えをもてるなんて思ってもみませんでした」と、交流によってよりよい考えになったことに手応えを感じたという内容の感想を口にした子がいました。その際、教師は「～さんが自分自身を高めようと努力したからですね」と、学習に向かう姿勢の良さを価値付けていました。振り返りを発表した子の表情は、とても輝いて見えました。

今年度は、「自分の可能性を感じ、自己成長を目指す児童の育成」を重点教育目標にしています。ICT の効果的な活用を目標達成の手段の一つと考え、授業での積極的な活用を進めていきます。



